

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www.hokjioka.net>

E-mail: codmokan@agate.plala.or.jp

支援会員・寄金 3,000円 (年額)
*会員には、本通信を配布します。

<3/20「卒業・修業のつどい」> 様々なことがあった1年間の区切り。
手作り会場や制作物を発表しながら・節目は明るく、楽しく、みんなが「主役」です。



■■ INDEX ■■

- P1: 巻頭言 P2: ヒューマンラスト/会費・集会他
p3: 年次会費納入 p4-5: 「卒業・修業のつどい」
p6: 2020年度のアльバム作成
p7: サポーター〜レポート
p8: エッセー、カレンダー、後記 [チラシ、案内他]

北海道自由が丘学園の新年度スタート

—今年も“子どもたちが主人公”を貫いて— 認定NPO 法人代表理事 大塚勲

1年前の4月7日に7都府県に発せられた新型コロナウイルス拡大による緊急事態宣言が、16日には北海道にも拡大され5月25日に解除されるまで、学園活動も大きく制約されることになった。その後も感染対策をより徹底させることに注力しながらも、子どもたちの学びの場であり日常の居場所でもあるこの月寒スクールの活動を豊かに継続させるべく、保護者やサポートスタッフの理解と協力が得ながら話し合いや工夫を積み重ね、子どもたちは多くの学習と様々な体験を通して大きな成長を実現することができた。

2021年4月7日、新年度の月寒スクールがスタートした。人数が多い新中3生にとっては最後の1年であり、その後の進路をしっかりと決めていく1年でもある。また昨年度から本格的にスタートしたばかりの初等部(小学生)も生徒が増える傾向が続く中で、より充実した、安定した活動の確立が求められる1年である。

人類はこの1年、コロナに関する知見をかなり増やしてきたが、依然として未知の部分も多く、感染症の収束の見通しはまだ立っていない。日本政府の感染対策は多くの国民の安心と信頼を得るものと言えない状況が続く中で、夏の東京五輪開催に向けての動きが加速(暴走?)している。私は昨年のフロンティア254号(5月)で「世界も日本も、そして大人も子どもも未知の危機や困難に遭遇した今だからこそ学べるものが多くあるはずで、それは教科書的な学びを取り戻すこと以上に大事なこともかもしれない。……“子どもたちが主人公”を貫きながら子どもたちの今にふさわしい、かつ未来を生きる力の源となるような学びを作り出していきたい。」と書いたのだが、今年度も引き続いて目指すべきテーマである。

学園長でありながらも昨年度までは週3日(月〜水)勤務だった私は、この4月から自由が丘学園だけの勤務になり、これまで以上の大きな役割と責任の重さを感じながらスタートを切った。多くの支援者や保護者の皆さまのお力も借りながら、また子どもたちからパワーをもらいながら全力を尽くしていきたい。

[注:筆者のフル体制に伴い常勤の分掌を調整中。スクールスタッフ・サポーターも授業科目・曜日を整えて始業]